

単元名

# 「Let's go 米作り！」

## ～地域の食の問題に目をつけ、米を育て、収穫しよう～

本単元で育成する資質・能力

探究力・論理的思考力・メタ認知力・協働、合意形成意欲・共感的な態度・本質を志向する価値観

※なお、本校では、上記の資質・能力を児童及び教諭間で共有するために、次の名称を用いている。

自分事の問い追究力（探究力）、かんがえ力（論理的思考力）、ふりかえり力（メタ認知力）、みんなと解決したい気持ち（協働、合意形成意欲）、思いやりの心（共感的な態度）、するどい目（本質を志向する価値観）

## 1 単元の配置

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	みんなの給食、桑木の米の秘密を探ろう(20時間)			地域の食の問題に目をつけ、米を育て、収穫しよう(30時間)				米の売り上げを伸ばすアイデアを提案しよう(20時間)				

## 2 児童観

児童の資質・能力及び態度の実態を明らかにするために以下のアンケートを行った。

## (1) 「学習方法に関すること」に対する実態

資質・能力	下位項目	アンケート項目	アンケート結果（4段階）			
			とても	やや	あまり	全然
スキル	自分事の問い追究力	・授業を受けるとき、「なぜだろう」「やってみたい」と思っています。				
	かんがえ力	・授業では、自分の考えと理由を相手に分かりやすくなるように発表を工夫しています。				

## (2) 「自分自身に関すること」に対する実態

資質・能力	下位項目	アンケート項目	アンケート結果（4段階）			
			とても	やや	あまり	全然
スキル	ふりかえり力	・学習の振り返りをするときは、「どこまでわかったか」や「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由を考えています。				
価値観 倫理観	するどい目	・授業では、「たぶんこうではないかな。」「こうすればできるのではないかな。」と考えています。				

## (3) 「他者や社会に関すること」に対する実態

資質・能力	下位項目	アンケート項目	アンケート結果（4段階）			
			とても	やや	あまり	全然
意欲・態度	みんなと解決したい気持ち	・授業では、友達と話し合うなどして自分の考えを深めたり、広げたりしています。				
価値観 倫理観	思いやりの心	・困っていたり、悲しんでいた、辛そうにしていたりする人がいたら、「どうしたのかな?」「助けてあげたいな。」と思います。				

この実態調査により児童は、本質を志向する価値観である「するどい目」に関して肯定的に捉えていると分かった。

反面、①理解度や学習方法を振り返ることや②思いやりの心には、課題がみられた。①については、学習の振り返りをするときに「どこまでわかったか」や「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由を考えること」ができていないことが分かった。②については困っていたり、悲しんでいたりする友達に対して、自分に何ができるのかが分からずどうしたらいいか分からないと感じている児童がいることが分かった。

### 3 単元観

#### (1) 本単元の学習の本質と児童のこれまでの学び

##### ○ 人として生きることの一側面

生きるということには、生涯問い続けるという側面がある。生きる上で社会から投げかけられる多くの問いは、答えの無い問いである。社会からの問いかけを「自分事の問い」としてとらえ、この問いに対して「今ここ」で出さう自分の「応え」を出していかななくてはならない。そして「応え」た自分自身をも対象化して、また新たな問いが「この応えでよいのか。」と立ち上がる。この無限の問いかけに対し、諦めず応え続けることが、人として生きることの一側面である。

##### ○ 本校の総合的な学習の時間の目標

地域の人や自然、社会とのかかわりを通して、「自分事の問い」を追究し、主体的・創造的・協働的に課題を解決しようとするとともに、身近な地域の様々な人とのかかわりを通して、地域に対する親しみと愛情を深め、自己の生き方を考えようとする。

#### 本単元「Let's go 米づくり」

##### ○ 本単元で問われる生き方の本質的な問い

自分たちの食生活を作るには、どうすればよいだろう。

##### ○ 本単元の目標

学習方法	自分自身	他者や社会
<b>自分事の問い追究力</b> 米作りをしたり、農家の方から話を聞いたりすることを通して、自分なりの米づくりに対する思いや願いをもち、必要な情報を収集・分析し、課題解決を目指して探究することができる。 <b>かんがえ力</b> 集めた情報を比較、分類、関連付けて自分の考えをつくり効果的に表現することができる。	<b>ふりかえり力</b> 自分の学び方の成長や学んだ事の自分にとっての意味、学んだことどうしの関わりについて振り返ることができる。 <b>するどい目</b> 「自分たちの食生活を作るにはどうすればよいのか」という問いや自分の問いに対して、自分なりの「応え」を見付けようとする。	<b>みんなと解決したい気持ち</b> 安易に友達の意見に流されず、相手の発言の関わる場所を見付けて、自分や相手の考えを深めあおうとする。 <b>思いやりの心</b> 過去の地域の人たちが現代に、そして現代の人たちの思いが未来の自分たちのよりよい生活を願っていることに気付くと共に、地域の課題に気付き共に悩む。

#### 学習材の魅力（学習材自体の価値や子どもにとっての魅力、GTの生き方）

本単元は、食生活に着目してよりよい食生活作りについて考える単元である。

地域の農家の方との交流を通して、神石高原町の米作りの工夫や努力、そしてそのおいしさについて知ったり、地域の方の「未来の神石高原町を自分たちが食を通じて作る」という思いと、その実現に向けた悩みについて共に考えたり、神石高原町の米作りの新たな在り方を地域の方々と協働して模索したりしていくことのできる単元である。

自分たちが毎日口にするものであり、神石高原町の主要産業の1つである米作りを取り上げることで、子どもたちが自分事として「米作りの秘密を知りたい。」「自分たちの住む神石高原町のお米のおいしさや自然の良さをもっと知ってもらいたい。」という願いをもって活動することができる。考える。

そうした願いは、農家の方たちと関わり、思いに触れることで、「自分たちの食生活を作る」ということは、どういうことなのか。」という視点へと発展していき、「食生活を作る」という視点で生き方を考えることができる。また、自分たちが調べたり考えたりしたことを地域の人たちに提案するという機会を取り入れることで、表現方法を工夫したより良い表現やアピールの工夫を目指す姿も期待できる。

農家の後継者不足や耕地面積の減少は、神石高原町も例外ではない。解決していかなければならない喫緊の課題である。21世紀も持続可能な町を作るための方策として、同規模の市町村の成功事例としては、米の単価を上げる工夫、土壌改良、特別栽培米作り、独自ブランド化、二次産業、三次産業と結びつける売り方の工夫などがある。

こういった他地域の成功事例に学び、ここ神石高原町で米作りを継続・発展させていくために自分のできることは何かを考えることのできる意義深い学習材である。

#### 4 指導観

(1) 児童の実態調査の課題を受けて、次の工夫を行う。

##### 実態① 理解度や学習方法を振り返ること

①については、児童の学びの様子を写真やビデオなどの記録に残し、自分の学び方や考え方の成長を振り返ることができるようにする。また、各時間の振り返りで、本時の学習で考えが深まったことや次時に調べてみたいこと、学習方法の反省をさせる。単元の最後に単元全体を振り返る場をもうけることで、食生活に対する自分の在り方を考え振り返る場を設定する。

##### 実態② 思いやりの心を育むこと

②については、農家の方の技術や努力に対するあこがれの気持ちを持つ活動を仕組んだり、農家の方の抱える悩みについて話を聞かせてもらう機会をもったりすることで、あこがれの農家の方のために何か自分たちにできることはないかという思いをもたせる。

(2) 研究主題のかかわりから次の工夫を行う。

##### ①「自分事の問い」をもたせ、追究させるために次の工夫を行う。

手立て①「自分事の問い」を見付けさせるために次の工夫を行う。

- ・神石高原町の米作りを守り、ふるさとを守りたいというゲストティーチャーの思いと出合わせ、解決するために何ができるか課題を見つけ、追究させていく。

手立て②「自分事の問い」を更新し、本質へ向かうために次の工夫を行う。

- ・振り返りの場を設定し、単元前半の児童の振り返りと後半の振り返りを比較する場を設定し、自己の成長や生き方の考えについてまとめさせる。

##### ②「学び合い」のある単元展開にするために、次の工夫を行う。

手立て③「学び合い」の必要感・切実感をもたせるために次の工夫を行う。

- ・中間発表会や農家の方にも参加していただく提案会の機会を設定することで、自分たちの追究や考えの検討をし合ったり、考えを見直したりできる学び合いの場を設定する。
- ・農家の方から、悩みや神石高原町の米作りの現状について話を聞かせてもらうことを通して、何とか悩みや問題を解決できないかという思いをもたせる。

手立て④「学び合い」の「おたずね」「かかわり」「納得探し」「自分の応え」の過程で次の工夫を行う。

- ・基調提案に対して「おたずね」や「かかわり」をすることを通して、神石高原町の米作りをアピールする自分の考えをより深めさせていく。

#### 5 単元の評価規準

学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会に関すること
<b>自分事の問い追究力</b> 米作りをしたり、農家の方から話を聞いたりすることを通して、自分なりの米づくりに対する思いや願いをもち、必要な情報を収集・分析し、課題解決を目指して探究することができている。	<b>ふりかえり力</b> 自分の学び方の成長や学んだ事の自分にとっての意味、学んだことどうしの関わりについて振り返ることができている。	<b>みんなと解決したい気持ち</b> 協力して作業をしたり、安易に友達の意見に流されず、相手の発言の関わるところを見付けて、自分や相手の考えを深めあったりしようとしている。
<b>かんがえ力</b> 集めた情報を比較、分類、関連付けし自分の考えをつくり効果的に表現している。	<b>するどい目</b> 「自分たちの食生活を作るにはどうすればよいか」という問いや自分の問いに対して、自分なりの「応え」を見付けようとしている。	<b>思いやりの心</b> 過去の地域の人たちが現代に、そして現代の人たちの思いが未来の自分たちのよりよい生活を願っていることに気付くと共に、抱えられている課題に気付き共に悩んでいる。

6 単元の展開 (30 時間)

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
<p>自分事 の 問 い の 設 定</p>	<p>1 農家の方の思いや抱える問題から神石高原町の米作りについて話し合い、調べてみたいことをもとの自分の課題を決める。(6時間)</p> <p>(1) 地域の法人の農家の方の田んぼに行き、稲を見たり、農家の方の技や工夫、農業をする理由、抱える悩みについて話を聞いたりする。</p> <p>(2) 個人経営の農家の方から生産や販売の苦労や工夫、働き甲斐などについて話を聞く。</p> <p>(3) 地域の方の思いや願いとその達成に向けた課題を整理分析し、自分の課題を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>米作りと合わせて野菜作りを進め、自分たちでの食生活づくりを進める。</li> <li>自分たちの育てたバケツ稲の育ちとの違いに気付かせ、ここまで育てた農家の方の技や工夫、努力について話を聞くことで、農家の方の技術や努力に対するあこがれの気持ちを持つことができるようにする。</li> <li>農家や JA の方から米作りに対する思いや工夫、抱えている問題について話を聞かせてもらったことから、プロでも悩みがあることに気付き、何か自分たちにできることはないかという思いを持たせる。</li> <li>写真やビデオで記録を撮り、学び直しの資料とする。</li> </ul>	<p><b>思いやりの心</b> 過去の地域の人たちが現代に、そして現代の人たちの思いが未来の自分たちのよりよい生活を願っていることに気付くと共に、抱えられている課題に気付き共に悩んでいる。(発言・ノート)</p> <p><b>自分事への問いの追究力</b> 米作りをしたり、農家の方から話を聞いたりすることを通して、自分なりの米づくりに対する思いや願いをもち、必要な情報を収集・分析し、課題解決を目指して探究することができている。 (発言・ノート)</p>
<p>情報 収 集</p>	<p>2 未来の食や仕事を守るという課題解決のために調べる内容や方法を考え、友達と協働して追究活動を行う。(8時間)</p> <p>(1) 米の収穫を行い、昔ながらの方法で精米し収穫し、追究活動に活かす。</p> <p>(2) 保護者は米を何で選んでいるのかアンケートする。</p> <p>(3) 他地域の農家や法人で成功している事例を調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農機具を使って刈る様子を地域の方に見せていただき、手作業と作業効率を比較させ、昔の作業の多さと農機具の発展が生活向上に寄与していることに気付かせる。</li> <li>課題に沿った追究活動ができるように資料を準備したり、農家の方や地域の方へのインタビューができる場を設定したりする。</li> <li>収穫したお米を味わう経験をすることで、神石高原町のお米のおいしさを再度実感させ、農業の問題を解決し、おいしいお米をもっと増やしたいという思いを高めさせる。</li> </ul>	<p><b>みんなと解決したい気持ち</b> 協力して作業をしたり、安易に友達の見解に流されず、相手の発言の聞かれるところを見つけて、自分や相手の考えを深めあったりしようとしている。(発言・ノート)</p> <p><b>かんがえ力</b> 集めた情報を比較、分類、関連付けし自分の考えをつくり表現している。(発言・ノート)</p> <p><b>自分事への問い追究力</b> 自分が調べてみたいことをもとに、課題を設定することができている。 (発言・ノート)</p>

課題：私達は、自分の食作りしか考えていなかったけど、地域の方は今の食を作るだけでなく、未来の食や仕事を神石に残すという思いをもっておられたね。私達も何かできないかな。

米作りをするだけじゃなく、看板を立てたりポスターやチラシを配ったりすればみんな買ってくれるかな？

お家の人に聞いたら米を選ぶとき気をつけるのは、値段と、味と、産地だったね。看板やポスターだけでは選んでもらえないと思う。神石高原町の農家の売り上げは、平均月に8万円だって。米作りを手作業でやるのは大変だったね。でも手作業でやっているのを売りにしている人もいたよ。米を作るだけでなく、パンやピザにして売るところまでやっている人たちもいたよ。

<p>整理・分析</p>	<p><b>3 情報収集過程で集めた資料をもとに整理・分析し、自分たちができることを考えまとめる。(4時間)</b></p> <p>(1) 集めた情報を整理・分析し、自分たちの追究や考えの検討や考えの見直しをする。</p> <p>(2) 中間交流会をもとに、再度、追究活動を行い、自分の考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案会を意識させ、地域の方の評価項目である「根拠があるか」「勝算があるか」「自分の地域でもできそうか」「やってみたいか」という観点を知らせ、情報を整理・分析させる。</li> <li>・中間交流会の前に、友だちや地域の方からの「おたずね」を想定させ、自分の提案に自分で「おたずね」をさせながら自分の提案に不備が無い考えさせる。</li> <li>・児童同士で交流し、アドバイスし合うことで、これまでの追究内容の不十分な点に気付かせたり、よりよいアピールになるよう見直したりさせる。</li> </ul>	<p><b>かんがえ力</b></p> <p>集めた情報を比較、分類、関連付けし自分の考えをつくり表現している。(発言・ノート・提案資料)</p>
<p>○米を高く売っている農家は手作業・化学肥料不使用・天日干しを売りにしていたよ。できるかな。</p> <p>○土づくりで言えば、神石には牛や豚を飼っている農家があるから、肥料が手に入るよ。</p> <p>○米袋のデザインだけど、最近はカラータイプや、動物を表紙にするものもあるよ。</p> <p>○米作りをもうかるようにすれば、地域に人が帰ってくることをアイデアとしてアピールしたい。</p> <p>○米を製品にするとき、パンだけでなく、アイスクリームも実際に作っている地域があるよ。子どもに人気で売れると思う。</p>			
<p>まとめ・創造・表現</p>	<p><b>4 神石高原町の米作りの未来を創るアイデアを農家に提案する。(3時間)</b></p> <p>(1) 友達と協働して伝える工夫を話し合い、自分たちの考えをまとめ、表現する。</p> <p>(2) 農家の方を招いた提案会を開く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画用紙1枚に要点と根拠を示させ、要点をもとに提案をさせる。</li> <li>・農家の方を招いた提案会を行い、どのグループのアピール方法なら実際に使いたいかわかりやすく評価して頂く。</li> <li>・プレゼンテーションソフトを使って神石高原町の米作りの6次産業化をアピールさせ、まとめていく。</li> </ul>	<p><b>かんがえ力</b></p> <p>自分の考えを効果的に表現している。(発言・提案資料・ノート)</p> <p><b>するどい目</b></p> <p>「自分たちの食生活を作るにはどうすればよいか」という問いや自分の問いに対して、自分なりの「応え」を見付けようとしている。(発言・提案資料・ノート)</p>
<p>地域の方が米作りの提案に興味をもってくださったね。</p> <p>地域を守るには、IターンやUターンの人が増えないといけないということにも納得してくださったね。</p> <p>米粉を使うなど、これから売っていくところまでやるというのに共感してくださったね。</p>			

<p>実行</p>	<p>5 米の6次産業化に向けた加工食品を農家に提案する。(8時間)</p> <p>(1) お世話になった方々への感謝の会兼米作りの6次産業化提案試食会を開く計画をする。</p> <p>(2) お世話になった方々への感謝の会兼米作りの6次産業化提案試食会の提案商品を試作する。</p> <p>(3) お世話になった方々への感謝の会兼米作りの6次産業化提案試食会でのプレゼンの準備をする。</p> <p>(4) お世話になった方々への感謝の会兼米作りの6次産業化提案試食会を開く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米粉を使った加工食品を調べさせる。</li> <li>・どんな加工食品を作りたいか売りを考えさせる。</li> <li>・プレゼン資料の作り方やポイントを知らせる。</li> <li>・プレゼンを作成させる。</li> <li>・米粉を作成することの技術的な難しさに気づかせる。</li> </ul>	<p><b>自分事の問いの追究力</b></p> <p>お世話になった方々への感謝の会兼米作りの6次産業化提案試食会に向けて、課題を立て、解決に向けて探究したり新たな実行上の課題を見付けたりすることができている。(発言・ノート)</p> <p><b>みんなと解決したい気持ち</b></p> <p>協力して作業をしたり、安易に友達の意見に流されず、相手の発言の関わるところを見付けて、自分や相手の考えを深めあったりしようとしている。(発言・振り返り)</p> <p><b>かんがえ力</b></p> <p>自分の考えを効果的に表現している。(発言・ノート)</p>
<p>振り返り</p>	<p>6 今後の取組について考える。自分たちの生き方を振り返る。(1時間)</p> <p>(1) 自分たちの食生活を作るにはどうすればよいか、振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の始めの頃の振り返りを想起させて、今の考えと比較させ、自分の成長を確かめる材料とする。</li> </ul>	<p><b>ふりかえり力</b></p> <p>自分の学び方の成長や学んだ事の自分にとっての意味、学んだことどうしの関わりについて振り返ることができている。</p> <p>(発言・ノート)</p>
<p>感謝の会では、米粉を使った料理を食べてもらい、よい評価をもらったよ。でも、米粉はパンと比べてふくらみが悪いところが弱点だということも分かった。商品にしていくなら、もっとよいものにしていかなくてはいけないね。</p> <p>それに米粉だけど、人間の力だけでは作るのは難しいことが分かったよ。どこか協力してくれるところはないだろうか。</p>			
<p>ちゃんと考えてアイデアを練りだせば地域の方は協力しようとしてくれるし、今より地域がよくなりそう。これからもアイデアを出して生活をよくしていきたいな。</p> <p>結局食生活を作るって、ただ米を育てるだけではなくて、それを使って製品を作ったり売ったりする工夫があるんだね。</p> <p>そして、そういったアイデアを出して行動していくことが地域の景色や人々を守ることにつながるんだね。地域の方がおっしゃった、地域の未来を守るという意味が分かった気がします。</p> <p>3学期からは、アイデアをもとに新商品を地域の方と売っていきたいです。</p>			

## 7 本時の展開

1 農家の方の思いや抱える問題から神石高原町の米作りについて話し合い、調べてみたいことをもとに自分の課題を決める。(2時間)

(1) 地域の農家の方の田んぼに行き、稲を見たり、農家の方の技や工夫、農業をする理由、抱える悩みについて話を聞いたりする。

(1) 本時の目標

- ・地域の法人の農家の方の田に行き、稲を見たり、農家の方の技や工夫、農業をする理由、抱える悩みについて話を聞いたりして、神石高原町の農家の方の思いや現状を知ることができる。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)	
20分	<p><b>1 ねらいを確認し、田へ移動する。</b></p> <p>プロの農家のイネの様子を見たり、話を聞いたりして、すごいところや生きがい、悩みを知ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1学期から継続して関わっている農家の田へ見学をしに行く。</li> <li>○事前にねらいを伝えておき、農家の技や工夫について、そして、生き方につながる農業をする理由や、抱えている悩みについて話をしてもらうようにしておく。</li> <li>○観察で分かることや疑問を記録シートに書かせる。</li> <li>○バケツ稲と比較させる。</li> <li>○鎌の使い方を指導する。</li> </ul>		
30分	<p><b>2 農家の方に挨拶をし、農家の方の育てたイネを観察し収穫する。</b></p> <p>T：自分たちの育てているバケツ稲と比較しながら収穫しましょう。</p> <p>C：どうして私のバケツ稲より成長がよいのだろう。</p> <p>C：どんな育て方の工夫をしているのだろう。</p>			
10分	<p><b>3 農家の方への質問タイムをとる。</b></p> <p>T：今日収穫してみて気付いたことや、聞いてみたいことを質問しましょう。</p> <p>C：どうして私達のバケツ稲より成長が早いのですか。</p> <p>イネの育ちには、水、栄養、温度が重要です。何が原因だったか考えてみてくださいね。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察して気付いたことや事前に悩んでいたことを質問させる。</li> </ul>
10分	<p><b>4 農家の方の思いを聞く。</b></p> <p>はっきり言って、本当は米作りをやめたい。米を作ってももうからない。でも、米作りをしなくなった田は荒れてしまう。ここから見えるところにも荒れた田があるだろう。これ以上荒れさせたくない。私は、この景色を守りたい。この景色がなくなれば、もっと人がいなくなるでしょう。だから、米作りを続けているんです。</p>			
20分	<p><b>5 学校へ移動し振り返る。</b></p> <p>C：農家の方の米は、やはり僕達の米よりよく成長していました。でも、米作りっもうからないんだと知りました。それなのに農家の方は、地域を守ろうとして農業を続けているんだと分かりました。</p>		<p><b>思いやりの心</b></p> <p>神石高原町の米作りの現在の状況、農家の方の思いなどを想像し他人のことではなく自分のことと感じている。</p> <p>(発言・ノート)</p>	

## 7 本時の展開

- 1 農家の方の思いや抱える問題から神石高原町の米作りについて話し合い、調べてみたいことをもとに自分の課題を決める。(2時間)
- (2) 個人経営の農家の方から生産や販売の苦労や工夫、働き甲斐などについて話を聞く。

### (1) 本時の目標

- ・地域の個人経営の農家の方をお招きし、生産や販路開発の工夫、農業をする理由、抱える悩みについて話を聞いて、神石高原町の農家の方の思いや現状を知ることができる。

### (2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分	1 <b>ねらいを確認する。</b> 個人で経営されている農家の方の工夫や生きがい、かかえるなやみを知ろう。		
30分	2 <b>個人経営の農家の方の話を聞く。</b>	○自分たちのバケツ稲と比較しながら話を聞かせる。	
10分	3 <b>農家の方への質問タイムをとる。</b> T：今日話を聞いて気付いたことや、聞いてみたいことを質問しましょう。 C：米作りの苦労は何ですか。		
20分	米をただ作るだけではなく、どうやって売るかも大切。また、今は機械で農作業をします。最新の機械をみんなで協力して買っています。苦労はあるけど、工夫することが大切です。		
20分	4 <b>トラクターなどを実際に動かしてもらい見学する。</b>	○事前に質問を考えさせておく。	
20分	5 <b>農家の方の思いを聞く。</b> この地域は昔からこの地の人を守ってきた。土地が荒れれば、人が荒れる。人が荒れれば故郷が荒れる。外に出た若者が、この故郷を愛してくれるようにしたい。それに、知恵を出して、農業の仕事を作っている。今、神石牛で若者が町に帰ってきている。米作りも若者と一緒にやって、地域をもっと豊かにしたい。		
5分	6 <b>振り返る。</b> C：農家の方の稲は、やはり僕達の稲よりよく成長していました。稲の育ちには水、栄養、温度が重要だと分かりました。米作りってもうからないんだと知りました。それなのに農家の方は、地域を守ろうとして農業を続けているんだと分かりました。		<b>思いやりの心</b> 神石高原町の米作りの現状、農家の方の思いなどに気付いている。 (発言・ノート)



## 7 本時の展開

1 農家の方の思いや抱える問題から神石高原町の米作りについて話し合い、調べてみたいことをもとに自分の課題を決める。(2時間)

(3) 地域の方の思いや願いとその達成に向けた課題を整理分析し、自分の課題を決める。

(1) 本時の目標

・地域の方の思いや願い、抱える課題を整理・分析し、課題を設定することができる。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
10分	<p><b>1 地域の方から学んだことを想起する。</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域の方から学んだことを振り返ろう。</p> <p>T：前回、前々回と地域の方からたくさんのことを学びましたね。どんなことを学べたか交流しましょう。自分の振り返りを見直し、特に学んだなと思う所に線を引きましょう。</p> <p>T：線が引けたら、付箋に要点だけ書いてください。</p>	<p>○うまく書き出せない児童には、地域の方から学んでいる際に、その児童が気付いていたことや、他の児童が目をつけていたポイントを知らせヒントにさせる。</p> <p>○付箋1枚に1つの気付きを書かせる。</p>	
15分	<p><b>2 班で交流する。</b></p> <p>T：班で交流しましょう。似ているものは集めて貼ってください。</p> <p>T：気づいたことをお互いに発表しましょう。</p>	<p>○書いた枚数が少ない児童から発表させる。</p> <p>○同じでも、必ず発言しながら貼らせる。</p>	
20分	<p><b>3 グループごとに発表をする。</b></p> <p>C：地域の農家の方は法人でやっているから、機械などを共同で買っていたことに気づきました。1人だったら何千万円も無駄になることが分かりました。</p> <p>C：虫やいのしし、病気などの被害があるから、農薬や化学肥料が必要なのも分かる気がしました。これも工夫です。</p> <p>C：一度荒れた田んぼを元に戻すにはかなり時間がかかることが分かりました。ぼくは父さんの跡を継ぐ者としてがんばりたいです。</p> <p>C：地域の人で、きれいな景色を保つために農業を続けているけど、もうからないし、</p>	<p>○全体で交流させる。</p>	

<p>15分</p>	<p>できれば辞めたいと言われていました。</p> <p><b>4 地域の方々が抱える苦勞とその原因を考える。</b></p> <p>T：米作りには色々な工夫や苦勞があることが分かりました。地域の方は、どんな苦勞があるのでしょうか。そしてその苦勞の原因は何でしょうか。</p> <p>C：今米を作っても、安くしか売れないので困っているんだと思います。最近、米を食べる人が減っているって聞いたからそれが原因だと思います。</p> <p>C：農家の人の一部は、自分で売る店を決めて直接売っているけど、売る店が見つからないと、安くなってしまうのが問題だと思います。</p> <p>C：米を作るのには、体力がいるけど、若い人で米作りをしようとする人が少ないのも問題だと思います。</p>	<p>○掲示を参考にさせながら、米作りの苦勞やその原因を考えさせる。</p>	
<p>15分</p>	<p><b>5 地域の方の苦勞とその原因によりそい、課題を立てる。</b></p> <p>T：実際に食べてみてとてもおいしい地域のお米です。色々な工夫をされていましたよね。すごい努力です。ところでこれだけ汗を流して作った神石高原町の農家の売り上げは月で計算するといくらぐらいだと思いますか。</p> <p>C：働き始めた高校卒業生でも15万円、大学卒業生でも20万円だから、30万円くらいかな？</p> <p>T：正解は米だけでは8万円です。</p> <p>C：このままだったら大変だし、苦勞の割にもうけが少なすぎです。</p> <p>T：それでは、今日の学習の振り返りを書きましょう。私たちに地域の方々と一緒にできることは無いでしょうか。ノートに書きましょう。</p> <p>C：農業の大変さを感じました。何とかもう少しもうけられると楽になるんだとは思</p>	<p>○厚生労働省の平成24年賃金構造基本統計調査結果（初任給）の概況をデータで示し、高卒で15万円、大卒で20万円くらいであることを読み取らせる。</p> <p>○米だけの月の売り上げは、H18年農業産出額とH22販売農家数より計算した。</p> <p>○ノートに振り返りを書かせる。振り返りの最後に、地域の方と共にやってみたいことを書かせる。</p>	<p><b>自分事の問い 追究力</b></p> <p>自分なりの米づくりに対する思いや願いをもち、追究したい課題を見つけることができ</p>

	<p>いますが、難しいのかなと思っています。 米のおいしさをもっとアピールしたらいいとは思っています。地域の人と、看板を立てたり、チラシを配ったりすればいいかもしれません。</p> <p>C：地域の方は、若い人が帰ってこられるように農業の仕事を残しておきたいとおられました。もっと農業をしたい人が増えて、米が高く売れるようになったらいいなと思います。</p> <div data-bbox="268 674 804 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>地域の人にこれからどんな米作りをしていけばよいか提案しよう。</p></div>		ている。(発言)
--	---	--	----------

## 7 本時の展開

2 未来の食や仕事を守るという課題解決のために調べる内容や方法を考え、友達と協働して追究活動を行う。(4時間)

(1) 米の収穫を行い、昔ながらの方法で精米し収穫し、追究活動に活かす。

(1) 本時の目標

・現代の技術と昔ながらの方法による精米・収穫を比較し違いに気づく。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
45分	<p><b>1 米の刈り取りをし、束ね、天日干しで乾燥させる。</b></p> <p>T：米の刈り取りをしましょう。鎌の使い方に気をつけて刈り取りましょう。</p> <p>T：刈り取った稲は束ね、天日干しにしましょう。</p> <p>T：バケツをきれいに洗い後片付けをしましょう。</p>	<p>○鎌の使い方の安全指導をする。</p>	
90分	<p><b>2 脱穀をし、粃摺りをし、精米する。</b></p> <p>T：茶碗を使い脱穀をしましょう。</p> <p>T：粃摺りをします。すり鉢を使いましょう。米が割れないように力加減に気をつけましょう。</p> <p>T：精米をします。瓶にお米を入れて、すり棒でつきましょう。白くなるまで根気強く頑張らしましょう。</p>	<p>○茶碗を使い脱穀をさせる。</p> <p>○粃摺りの際にははじめにすり棒で行わせる。ただ、力の加減がうまくいかないと米が割れてしまうことを体験させた上で、軟式野球ボールを使わせる。</p> <p>○精米は、事前に瓶を用意させておく。</p> <p>○少々の時間では、白くならないので、家庭にもって帰らせ、精米作業をさせる。白い米になるまで精米する苦勞を感じさせる。</p>	
15分	<p><b>3 農家やJAでは、これらの作業をどのようにやっているかビデオを見る。</b></p>	<p>○地域の方の作業を想起させ、ビデオで現代の作業を見せる。</p>	
15分	<p><b>4 手作業と機会を比較して気付いたことを交流する。</b></p> <p>C：刈り取る速さが全然違う。</p>	<p>○気づきをノートに書かせる。</p>	

<p>15分</p>	<p>C :刈り取るだけじゃなくて、モミを自動的に取り出していたよ。</p> <p>C :収穫したモミは乾燥機に入れて、温風で乾燥させていたけど、これは昔のほうがエコだね。でもスズメとかに食べられなくて済むのはいいかもしれない。</p> <p>C :機械だったら米の水分量も調節できるのはすごい。干す時は、勘でやるしかない。</p> <p>C :粳すり機で玄米にするのを見たけど、スピードがぜんぜん違う。</p> <p>C :玄米にした後、精米するのは知らなかった。そして、これだけ機械でやったら楽だと思う。昔の方法は何時間やっても白いお米にならなかった。本当に大変。</p> <p>5 振り返りをする。</p>		<p><b>かんがえ力</b></p> <p>現代と昔の作業の違いに気付き、手作業による農業は時間がかかることに気付いている。</p> <p>(発言・振り返り)</p>
------------	--	--	--

## 7 本時の展開

**2 未来の食や仕事を守るという課題解決のために調べる内容や方法を考え、友達と協働して追究活動を行う。(1時間)**

- (2) 保護者は米を何で選んでいるのかアンケートする。  
 (3) 他地域の農家や法人で成功している事例を調べる。

### (1) 本時の目標

- ・協力して他地域の農家や法人で成功している事例を調べたり保護者アンケート項目を作成したりして、情報を集める。

### (2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分	<p><b>1 全員の目標を確認する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           地域の人にこれからどんな米作りをしていけばよいのか提案しよう。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の学習の振り返りをもとに、方向性を確認する。</li> </ul>	
15分	<p><b>2 アンケート項目を作成する。</b></p> <p>T：ところで、どんな米作りをすればいいんだろう。お家の人は、どんなお米を選んでいるのかな。</p> <p>C：うちは、近所の人から買っている。</p> <p>C：よく知らない。</p> <p>T：お家の人に聞いてみよう。どんなことを聞いたら、みんなの役に立ちそう？</p> <p>C：お米を何で選んで買っていますか。</p> <p>C：神石のお米を買っていますか？</p> <p>T：それでは、アンケートをそれで作りましょう。担当できる人お願いします。どれだけのお家の人に聞きますか。4年生ですか？全校ですか？</p> <p>C：全校に聞いたほうが、たくさん知れるからいい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校にアンケートをお願いする。</li> </ul>	
20分	<p><b>3 提案する方法を考えるための情報を収集する。</b></p> <p>T：どんな米作りをしていけば、神石高原町の未来を守ることにつながるんだろうね。農家の方から、①その方法が成功する根拠がある。②神石高原町でもできそう。③やってみたいと思える。ものを提案してほしいと言われました。どんなことができるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠、実現可能性、農家の方を動機づける方法という視点を与え、情報を収集させる。</li> <li>・児童は、安易に看板を立てるなどの意見を言うことが想定される。そこで、他地域の成功事例をいく</li> </ul>	

<p>5分</p>	<p>な。</p> <p>C：米をアピールする。</p> <p>C：売りを決めて高い値段で売る。</p> <p>T：どうアピールしたら、売れるのでしょうか。根拠があるといいですね。〇〇地域では成功しているからというのは、一つの根拠になります。他の地域で成功しているところを探してみるとヒントになるかもしれませんよ。</p> <p><b>4 振り返りをする。</b></p> <p>C：ぼくたちは、米袋の表紙を考えようと決めました。次の調べでは、他の地域の変わった表紙を集めてみようと思います。今日は〇〇さんが、インターネットの検索の仕方を教えてくれたので助かりました。</p>	<p>つか探し、ポイントを見つめるよう促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が資料を見付けられないことも考えられるので、法人化，6次産業化している東広島の成功事例や、手作りに特化し，米の値を16倍にして売ること成功している新潟県の事例を用意しておく。</li> <li>・互いの課題意識を確認しておき，相手にとってよい資料が見つければ紹介させる。</li> <li>・インターネットでの検索のポイント（単語で調べるなど）を指導する。</li> <li>・授業の最後に一言ずつ追究の進捗と見通しと友だちとの関わりについて発表させる。</li> </ul>	<p><b>みんなと解決したい気持ち</b></p> <p>それぞれの課題解決に向けて，友だちと協力しながら情報を探している。（発言・振り返り）</p>
-----------	--	---	--

## 7 本時の展開

2 未来の食や仕事を守るという課題解決のために調べる内容や方法を考え、友達と協働して追究活動を行う。(3時間)

- (3) 他地域の農家や法人で成功している事例を調べる。  
3時間の授業の過程は以下の本時の指導案の繰り返しである。

(1) 本時の目標

- ・他地域の農家や法人で成功している事例を調べ、情報を集める。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分	<p><b>1 全員の目標を確認する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     地域の人にこれからどんな米作りをしていけばよいのか提案しよう。                 </div>		
30分	<p><b>2 提案する方法を考えるための情報を収集する。</b></p> <p>T：続いて調べていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ方が分からずに迷っている児童には、調べ方を教え合わせたり、個別に指導したりする。</li> <li>・根拠、実現可能性、農家の方を動機づける方法という視点を与え、情報を収集させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>自分事の問い 追究力</b> </div> 自分が調べてみたいことをもとに、課題を設定することができている。 (発言・ノート)
10分	<p><b>3 振り返りをする。</b></p> <p>C：ぼくたちは、米粉にしている農家を見つけました。今度は、米粉が何に使えるか調べたいです。お家の人にも聞いてみます。</p> <p>〇〇くんは、お家が仕出しをしているので、米粉料理を聞いてくれると言ってくれたので楽しみです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての班に取組の成果と、今後の見通しと他の児童とのかかわりでよかったことを発表させる。</li> </ul>	



## 7 本時の展開

**3 情報収集過程で集めた資料をもとに整理・分析し、自分たちにできることを考えまとめる。(2時間)**  
 (1) 集めた情報を整理・分析し、自分たちの追究や考えの検討や考えの見直しをする。

(1) 本時の目標

- ・根拠，実現可能性，農家の方を動機づける方法という 3 つの視点を用いて，提案資料を作成することができる。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
15分	<p><b>1 中間発表会の発表様式を知る。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">                     中間発表会の準備をしよう。                 </div> <p>T：どのチームもたくさんの資料を集めましたね。中間発表会を目指して、まとめていきましょう。地域の方に提案する本番の時は、各チーム画用紙1枚に、発表したい内容をまとめて発表します。</p> <p>T：先生が2枚作成してきました。どっちがいいでしょう。</p> <p>C：2番は、グラフがあるから、根拠があっていいと思います。</p> <p>C：2番は、神石高原町でもできることが書いてあるからいいと思います。</p> <p>C：1番は、先生の話し方がスピードや声の大きさを変えていてうまかったからやってみたいと思いました。</p> <p>T：では、どんなことに気をつけて、提案資料を作りたいですか？</p> <p>C：根拠がある。</p> <p>C：要点で表す。</p> <p>C：やってみたいと思えるような話し方をしないといけない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠と実現可能性，農家の方を動機づける方法という視点で比較させる。</li> </ul>	
50分	<p><b>2 提案資料を作成する。</b></p> <p>T：それでは提案資料を作りましょう。チームで話し合って資料を作ってください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案資料には，データと提案の要点しか書かず，後は口頭や，別資料として作成し提案するようにさせる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <b>かんがえ力</b> </div> 根拠，実現可能性，農家の方を動機づける方法という 3 つの視点を用いて，提案資料を作成することができる。(提案資料)
15分	<p><b>3 資料を見返し，不明な点を明らかにする。</b></p> <p>T：資料ができたなら，自分たちの資料に他の</p>		

10分	<p>人からどんな「おたずね」をされるか考えましょう。思いついた「おたずね」は、付箋に書いて、提案資料に貼りましょう。応えられるようになったらはがしていきましょう。</p> <p>C：今日自分に「おたずね」をしていたら、答えられないところがたくさんあったので、調べて答えられるようにしたいと思いました。</p>		
-----	---	--	--

## 7 本時の展開

- 3 情報収集過程で集めた資料をもとに整理・分析し、自分たちにできることを考えまとめる。(2時間)  
 (2) 中間交流会をもとに、再度、追究活動を行い、自分の考えをまとめる。

(1) 本時の目標

- ・他者からの質問や評価を受け、自分たちの追究や考えの検討、見直しをする。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
3分	<p><b>1 中間発表会の発表の進め方を確認する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>中間発表会で友だちの意見におたずねをし、よりよい発表にしていこう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に3分間で提案の概要を説明させ、質疑応答をする。その後、今後の見通しを発表させる。</li> <li>・左記のような話し合い活動を5つ全ての班で順番に行う。</li> </ul>	
42分	<p><b>2 中間発表会をする。</b></p> <p>T：それでは中間発表会をしましょう。3分間で発表します。聞く人たちは、「おたずね」したいことや、よかったこと、意見を発表し、発表者の意見をよりよいものにしていきましょう。</p> <p>C1：私たちは「無肥料・無農薬・天日干し」で作る高級米を提案します。昔ながらの無肥料・無農薬・天日干しでは、安全でおいしいお米を作ることができます。新潟県で実際に無肥料・無農薬・天日干しでやっている戸邊秀治さんは、60kgあたり17万7000円で売っているそうです。こんな高級米を作るのが私達の提案です。</p> <p>C：おたずねで、天日干しって何ですか。</p> <p>C1：天日干しは、干して乾かすことです。</p> <p>C：無農薬ってあるけど、無農薬にしたら虫がたくさん来て、稲が育たないのではないですか。</p> <p>C：虫のことはまだ考えていなかったのですが、どうするか考えておきます。</p> <p>C：無肥料とありますが、無肥料だったら育ちが悪くなっておいしくないのではないですか。</p> <p>C1：無肥料でもおいしくなるように、冬のうちから水をはっておきます。すると、土が元気になるそうです。</p>		

	<p>C : 何円もうかるかを言っているの、根拠があつてやりたくなると思いました。</p> <p>C 1 : みんなに発表して、無農薬でどうするか考えないといけないと思いました。地域の方に提案するときには、言えるようにしたいと思いました。ありがとうございました。</p>		
40分	<p>3 新しい課題を追究するために、改めて情報収集したりまとめ直したりする。</p>		
5分	<p>4 振り返る。</p> <p>無農薬でどうするかを調べていたのですが、アイガモ農法をしているところを見つけたので、アイガモ農法を取り入れたら害虫の影響もないからいいと思います。</p>	<p>・インターネットや書籍をもとに、新しい課題の解決方法を調べさせる。</p>	<p><b>かんがえ力</b> 集めた情報を比較、分類、関連付けし自分の考えをつくり表現している。(発言・ノート)</p>

## 7 本時の展開

### 4 神石高原町の米作りの未来を創るアイデアを農家に提案する。

(1) 友達と協働して伝える工夫を話し合い、自分たちの考えをまとめ、表現する。(2時間)

(1) 本時の目標

・友だちと協働して伝える工夫を話し合い、自分たちの考えをまとめ直し、効果的に表現する。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分	<p><b>1 めあての確認をする。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>中間発表会の最終準備に取りかかろう。 伝える工夫を考えて、話せるようにしよう。</p> </div> <p>T：いよいよ来週が発表です。3分間で発表します。発表の工夫をするとみんなが伝えたい事が伝わりやすくなりそうですね。どんな工夫をしたいですか。</p> <p>C：テレビのように大切なことには、カードを貼っておいて、めくりながら話をするとうわりやすいかもしれない。</p> <p>C：米の包装を提案しようと思っているんだけど、包装を実際に作って見せたら分かりやすいかもしれない。</p>		
85分	<p><b>2 発表練習や準備をする。</b></p> <p>T：それでは、発表の工夫や、発表に必要なものの準備をしていきましょう。</p> <p>C：米の包装を作ってみよう。</p> <p>C：絵を書いてどんなパンを作ると売れるか説明しよう。</p> <p>C：僕たちはもう一度、土作りについて調べなおしてから、説明を考えよう。</p> <p>C：読み方の工夫をしたいな。</p> <p>C：ここのタイミングで米袋を出したらいいと思う。</p> <p>C：はじめに不安な資料を出して、その後、解決方法を言おう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に、すぐ表現の過程に移る班もあれば、情報収集の過程に戻る班もあることが考えられる。85分の時間を弾力的に使わせ、最終的には、発表の工夫まで考えられるようにする。</li> <li>・インターネットや書籍をもとに、新しい課題の解決方法を調べさせる。</li> </ul>	<p><b>かんがえ力</b></p> <p>自分たちの伝えたい内容について効果的な表現を考えている。(行動観察・提案資料)</p>

## 7 本時の展開

### 4 神石高原町の米作りの未来を創るアイデアを農家に提案する。

#### (2) 農家の方を招いた提案会を開く。(1時間)

##### (1) 本時の目標

- ・神石高原町の今後の米作りの方法を提案し互いに意見交流することを通して、よりよい考えをつくっていくことができる。

##### (2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点 ▲児童への支援	評価規準 (評価方法)
1分	<p><b>1 GT を紹介し、今日の流れについて説明する。</b></p> <p>神石高原町はこれからどんな米作りをしていけばよいのか提案しよう。</p> <p>T: グループごとに神石の米作りを通して神石高原町の町づくりにつながる方法を考えてきましたね。今日は、互いに提案し合い、GT や参観者のみなさんに1番魅力的な考えのグループはどこか、投票してもらい、評価してもらいましょう。</p>		
4分	<p><b>2 相談タイムをとる。</b></p> <p>T: より良い提案になるようにGTの方に質問をして、疑問を解決しておきましょう。</p>	<p>○GTの方にグループを回っていただく。児童にはおたずねを想定させておき、GTの方に質問をしたり相談にのって頂いたりするなどして、情報を得る時間とする。</p>	
15分	<p><b>3 グループごとに提案をする。</b></p> <p>C: ぼくたちのグループは、神石の今後の米作りは、米を売るだけでなく、加工品も作っていくことを提案します。東広島市の小田さんたちが米粉パンや米粉ピザを作ってもうけを出し、成功しているからです。特に、神石にはトマトや神石牛、ピオーネなど特産物もたくさんあるから、それらとコラボしてピザやフルーツピザを作って道の駅さんわ 182 ステーションで販売することを考えました。</p> <p>C: わたしたちのグループは、土作りの工</p>	<p>○自分たちが考えるアピール方法をグループごとに提案し、互いに「おたずね」や「かかわり」をさせ、考えをより深められるようにする。</p> <p>▲児童の発言が単発で終わらないように補助発問を行い、話し合いが深まるようにする。</p>	

	<p>夫を提案します。小田地区が牛のたい肥を使ってつくる「小田米」が高い評価を受け、もうけを増やした事例があるからです。神石にも牛を飼っている方がいるので、たい肥を活用し、農薬や化学肥料を使う量を減らすことを考えました。アンケートから、お客さんは食の安全性を求めていることも分かったので、農薬や化学肥料の少ない米として売り出すといいです。また生活排水の少ない山の水を使ったり、昼と夜の寒暖差もあったりしているので、おいしいお米だとよりアピールできます。</p> <p>C： ぼくたちのグループは道の駅さんわ182 ステーションでの直接販売を提案します。182 ステーションは福山にも近く、都市から人を呼び込むことで、大きなもうけを出すことができるからです。お客さんの目をひくポイントとして米袋のキャッチフレーズも考えました。直接売ることで、お客さんには安く、農家のもうけも大きく、お互いにとって良いです。</p>		
10分	4 提案したものを比較し、メリットやデメリットについて考える。		<p><b>かんがえ力</b></p> <p>提案した神石高原町の米作りを促進させる方法について根拠、実現可能性、農家の方を動機づける方法かという視点でメリット・デメリットを考え、表現する事ができている。(発言・ノート)</p>
10分	5 参観者やGTに魅力的な考えのグループに投票していただく。またGTから良かった理由やアドバイスをいただく。	<p>○GTからは、それぞれの考えの良い点や改善に向けての改良点などを具体的に出してもらえるようにしておく。</p>	
5分	<p>6 話し合いの振り返りをする。</p> <p>T：4年生として今後の取組はどうしているか、ふり返りに書きましょう。</p> <p>C：それぞれの提案を比べてみて、どの提案もお金や人手もかかるけど、加工食品はいろいろな商品に発展できたり、働き手を増やすことにつながったりすることが分かった。加工食品の案をより深めていきたい。</p>	<p>○提案会を通して、自分の考えを強めたことや、友達から聞いて、新しい見方ができるようになったことや、気付いたことについてノートにまとめる。</p>	

	<p>C :加工グループは, 加工食品を作ることを通して働き手の増加を考え, 神石高原町の人口を増やすことも考えているので, 自分もそこまで考えないといけないなと思いました。でも, 自分たちのグループのお客さんの求めている食の安全性を考えることを取り入れてほしいです。</p>		
--	--	--	--



## 7 本時の展開

### 5 米の6次産業化に向けた加工食品を農家に提案する。(1時間)

(1) お世話になった方々への感謝の会兼米作りの6次産業化提案試食会を開く計画をする。

(1) 本時の目標

お世話になった農家の方への感謝の会を開きたいという友だちの願いに気づき、感謝の会の内容を具体化するよう友だちと話し合っって具体化する。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
3分	<p><b>1 感謝の会を開きたいという児童が、他の児童に提案をする。</b></p> <p>C1：去年は、感謝の会を開いたそうです。今年も、感謝の会を開いたらいいと思うのですがどうですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開きたいと考えている児童に提案させる。</li> </ul>	<p><b>みんなと解決したい気持ち</b></p> <p>協力して作業をしたり、安易に友達の意見に流されず、相手の発言の関わるところを見付けて、自分や相手の考えを深めあったりしようとしている。(発言・振り返り)</p>
15分	<p><b>2 感謝の会を開くかどうか話し合う。</b></p> <p>T：感謝の会について話し合しましょう。</p> <p>C：ぼくは開いた方がいいと思います。C1さんは、何を感謝したいのですか。</p> <p>C1：田んぼをかしてもらったことや、農機具を見せてもらったことや、色々と教えてもらったことです。</p> <p>C1：みんなやることに賛成でいいですか。</p> <p>C：どんなことをしますか。</p> <p>C1：私は、米粉を使った新商品を作って試食してもらいたいです。そしたら、やってみようと思ってもらえるかもしれないからです。</p>		
10分	<p><b>3 感謝の会で去年の児童が使ったプレゼンを観る。</b></p> <p>C：何に感謝したのか分かるプレゼンにしたいし、新商品を作りたいと思ってもらえるように試食会もしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度のプレゼンを見て、プレゼンとはどういうものかイメージをつかむ。</li> </ul>	
10分	<p><b>4 プレゼンテーションについて知る。</b></p> <p>C：ぼくたちは、米粉にしている農家を見付けました。今度は、米粉が何に使えるか調べたいです。お家の人にも聞いてみます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンの目的や、相手意識、構成、配色などを知る。</li> </ul>	
7分	<p><b>5 振り返る。</b></p>		

## 7 本時の展開

### 5 米の6次産業化に向けた加工食品を農家に提案する。(2時間)

(2) お世話になった方々への感謝の会兼米作りの6次産業化提案試食会での提案商品を試作する。

#### (1) 本時の目標

6次産業化の提案試食会に向けて米粉パンを作り、実行上の課題を見付けることができる。

#### (2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
3分	<p><b>1 提案試食会に向けて米粉を使ったパン作りについて確認する。</b></p> <p>C：米粉パンに必要なものは〇〇でしたね。 各班，材料をとってください。 C：作業はこのようになっています。 T：今日は米粉パンを作りながら，そのポイントを探っていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にインターネットで米粉パン作りについて調べさせておく。</li> <li>・班を作りパン作りの行程についてまとめさせ，半全員に授業が始まるまでに周知させておく。</li> <li>・必要な食材などは，授業3日前までに担任に伝えたものだけを購入しておく。</li> <li>・炊飯器を使用して作るもの，枝豆やさつまいもなどをトッピングして発酵させてつくるもの等，チームごとに作成させる。</li> <li>・作成の様子や完成品を写真におさめ，提案の際の資料にする。</li> </ul>	<p><b>自分事の問いの追究力</b></p> <p>米作りの6次産業化提案試食会に向けて，パンを作成する実行上の課題を見付けることができる。 (発言・ノート)</p>
74分	<p><b>2 米粉パンを作成する。</b></p>		
13分	<p><b>3 自分たちで味見をして評価し，先生方の評価を聞く。</b></p> <p>C：味見をすると少し硬かったな。 C：もう少し塩味がするとおいしいと先生がおっしゃってたよ。 C：豆パンやさつまいもは素材のおいしさがでていた。 C：今日は時間がかかりすぎた。もっと早く作れるようにならないと，農家の方々はやってくれないかもしれない。</p>		

## 7 本時の展開

**5 米の6次産業化に向けた加工食品を農家に提案する。(2時間)**

(3) お世話になった方々への感謝の会兼米作りの6次産業化提案試食会でのプレゼンの準備をする。

(1) 本時の目標

6次産業化の提案試食会に向けて効果的なプレゼンを作成することができる。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分	<p><b>1 提案試食会に向けたプレゼンのねらいを確認する。</b></p> <p>T：プレゼンを作っていきます。プレゼンには次のような中身があることが多いです。</p> <p>① 心を引き付け、中身の分かるタイトル</p> <p>② 聞き手が困っていることが何か分かるページ</p> <p>③ 聞き手が困っていることの解決方法</p> <p>④ その解決方法を取り入れるメリット(いいことがあるか)</p> <p>⑤ 根拠となるデータ</p> <p>⑥ 相手がやってみたいと思うようなメッセージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンの目的を確認し、大まかな構成要素を伝える。</li> <li>・目的は説明ではなく、相手がやってみたいと思うようにすることであることを確認する。</li> </ul>	
20分	<p><b>2 プレゼンを作成する。</b></p> <p>T：6つのグループに分かれてプレゼンを作っていきます。まずはA4用紙にイメージをかきましょう。</p> <p>T：他のグループのプレゼンページをみて、おたずねやアドバイスをしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4用紙を使い、だいたいのイメージを作らせる。</li> <li>・チームでイメージの改善をさせる。</li> <li>・他のグループとプレゼンの下書きを交流し、よりよいものに仕上げる。</li> <li>・プレゼンテーションソフトの使用方法を親パソコンを使って示す。</li> </ul>	<p><b>かんがえ力</b></p> <p>自分の考えを効果的に表現したり、表現を見直している。(プレゼン資料・ノート)</p>
50分	<p>T：できたイメージをもとにプレゼンページを作りましょう。</p>		
15分	<p><b>3 プレゼンページを組み合わせて、流して修正する。</b></p> <p>C：字の色を変えたら見やすいな。</p> <p>C：大切な言葉を大きく書くといいと思います。</p>		

## 7 本時の展開

5 米の6次産業化に向けた加工食品を農家に提案する。(1時間)

(2) お世話になった方々への感謝の会兼米作りの6次産業化提案試食会での提案商品を試作する。

(1) 本時の目標

前回の反省を生かし、試食会当日用のパンを作成する。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
2分	<p><b>1 前回のパン作りの反省を確認し、パンを作る。</b></p> <p>T：今回は45分です。時間を有意義に使ってパン作りを進めてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の課題だった作成時間がかかるという課題の克服を</li> <li>・45分しか時間がないことを事前に伝えておき、段取りを考えさせておく。</li> </ul>	<p><b>みんなと解決したい気持ち</b></p> <p>協力して作業しようとしている。 (発言・ノート)</p>
43分	<p><b>2 米粉パンを作成する。</b></p>		

## 7 本時の展開

### 5 米の6次産業化に向けた加工食品を農家に提案する。(2時間)

(4) お世話になった方々への感謝の会兼米作りの6次産業化提案試食会を開く。

(1) 本時の目標

6次産業化の提案試食会をし、地域の方の感想を聞き、今後の取組の方針を決める。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
70分	<p><b>1 感謝の会をする。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>感謝の気持ちを伝え、農家の人と一緒にやりたいと思うような感謝試食会にしよう。</p> </div> <p>○ 感謝の気持ちを伝える。 C: 実際に農機具を動かして見させてください、手作業との違いがよく分かりました。 C: 売るところまで考えているのがすごいし、大事だよとほめてくださってありがとうございました。</p> <p>○ 米粉料理の提案をする。 C: 僕達の班は、さつまいも入りパンを作りました。作るのにかかる時間は○分で費用は一つあたり○円です。</p> <p>○ 米粉パンの試食会をする。</p>	<p>・学級会活動で会の運営や内容を決めておく。</p> <p>○プレゼンソフトを使って提案をさせる。</p>	
10分	<p><b>2 地域の方の評価を聞く。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今までは、米をただ売るだけしかしていませんでした。でもみんなが色々と考えてくれて、米を使って新しいものを作ることが大切だなと思ったよ。</p> <p>君たちは、地域を守る主人公だね。私も主人公になってがんばりたい。</p> <p>ただ、米粉を作るのには実は技術がいるんです。機械を買うとお金もかかる。とってもよい提案ありがとう。なんとか実現できるようにしていきたいと強く感じました。一緒にがんばっていこうね。</p> </div>	<p>○GTと連携をとり、子どもたちの影響で、6次産業化を進めたいと感じたかどうか、米粉づくりの技術の難しさ、機械導入にかかる費用などの現実的課題を伝えていただくようにする。</p> <p>○地域に米粉を作っている人がいるので、これからの学習で、その人と連携をとり、米粉づくりの課題を解決していく。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><b>自分事の問い 追究力</b></p> </div> <p>実行上の新たな課題を見付けている。(発言・振り返り)</p>
10分	<p><b>3 振り返る。</b></p>		

7 本時の展開

6 今後の取組について考える。自分たちの生き方を振り返る。(1時間)  
 (1) 自分たちの食生活を作るにはどうすればよいか, 振り返る。

(1) 本時の目標

自分たちの今までの取組を振り返り, 食生活を作るにはどうすればよいか振り返る。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
15分	<p><b>1 過去の写真やビデオ, 記録をもとに単元を振り返る。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>やってきたことや力がついたなど思ったことを振り返ろう。</p> </div> <p>C:最初は, 米作りをすればいいだけだと思っていたな。                      C:米作りをするだけでなく土作りや, 売り方の工夫もあったね。                      C:米を他の製品にする工夫も大切だと分かったよ。                      C:それから僕達で提案したら, 地域の人と一緒に頑張ってくれようとしたのが嬉しかった。アイデアを出したら, 地域の人聞いてくれるね。                      C:ぼくは, はじめ農業ってやったことなかったから不安だったんだけど, やっていきうちに面白くなってきました。お父さんは, 将来はお前が農業をつげと言っています。だから未来のぼくは, 農業をして活躍したいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオ資料などを準備しておく。</li> <li>・過去の振り返りなどを見せる。</li> <li>・新たに知った知識や, 身に付けたスキルの他に, 過去の自分, 今の自分, 未来の自分の3つの言葉のうち, 使えるものを使って振り返らせる。</li> </ul>	
20分	<p><b>2 振り返りを書く。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ちゃんと考えてアイデアを練りだせば地域の方は協力しようとしてくれるし, 今より地域がよくなりそう。                      これからもアイデアを出して生活をよくしていきたいな。                      結局食生活を作るって, ただ米を育てるだけではなくて, それを使って製品を作ったり売ったりする工夫がいるんだね。                      そして, そういったアイデアを出して行動していくことが地域の景色や人々を守ることにつながるんだね。                      地域の方がおっしゃった, 地域の未来を守るという意味が分かった気がします。                      3学期からは, アイデアをもとに新商品を地域の方と売っていきたいです。</p> </div>		<p><b>ふりかえり力</b></p> <p>自分の学び方の成長や学んだ事の自分にとっての意味, 学んだことどうしの関わりについて振り返ることができている。                      (発言・ノート)</p>
10分	<p><b>3 振り返りを発表する。</b></p>		

